

時間	果樹 I N205	果樹 II N206	果樹 III N207	野菜 I N321	野菜 II N322
9:00	<p>遺伝子解析 西谷千佳子</p> <p>果 001 エビジェネティックな記憶によるカキの可塑性な性決定(第2報) ○赤木剛士^{1,2}・Henry, Isabelle³・Comai, Luca³・田尾龍太郎¹(¹京都大院農学研究所,²JST さきがけ,³カリフォルニア大デービス校)</p>	<p>ニホンナシ 松本 辰也</p> <p>果 022 2015 年秋~2016 年春の休眠期における茨城県、鳥取県、熊本県および鹿児島県のニホンナシ ‘幸水’ および ‘新高’ 腋花芽の生育比較と発芽不良発生要因に関する考察 ○伊東明子¹・坂上陽美²・藤丸治³・岩谷章生³・池田隆政⁴・阪本大輔¹・杉浦俊彦¹・森口卓哉¹・草場新之助¹(¹農研機構果樹茶部門,²鹿児島農総セ,³熊本農研セ,⁴鳥取園試)</p>	<p>ブドウ 1 薬師寺 博</p> <p>果 046 満開期の環状剥皮処理がブドウ ‘シャインマスカット’ の果粒肥大に及ぼす影響 ○宇土幸伸・里吉友貴・小林和可(山梨果樹試)</p>	<p>育種・栄養生理等 (イチゴ) 末吉 孝行</p> <p>野 001 一季収り性イチゴ新品種 ‘08-54’ の育成 ○野崎克弘¹・壹岐裕子¹・早日隆則²・加藤三郎¹・黒木尚³・力武弘⁴・黒木利美⁵・白木己歳²・渡口照久⁵・藤田和也⁵(¹宮崎総農試,²宮崎東白杵農林振興局,³宮崎南那珂農林振興局,⁴宮崎児湯農林振興局,⁵元宮崎総農試)</p>	<p>栽培(ウリ科) 金子 賢一</p> <p>野 025 高吸水性ポリマー添加育苗用土でのキュウリ苗の生育 ○中山秀貴・片桐優亮・笠井友美(福島農総セ)</p>
9:15	<p>果 002 カキ甘渋性に関するトランスクリプトーム解析 ○西山総一郎¹・尾上典之²・河野淳²・佐藤明彦²・米森敏三³・田尾龍太郎¹(¹京都大院農学研究所,²農研機構果樹茶部門,³龍谷大農学部)</p>	<p>果 023 マルチ処理がニホンナシの初期収量や幼木の生育に及ぼす影響 ○戸谷智明^{1,2}・鈴木健¹・藤井義晴²(¹千葉農林総研セ,²東京農工大院)</p>	<p>果 047 ブドウ ‘ナガノパール’ における果粒販売のための省力果(花)房管理方法の検討(第2報)~果粒品質の比較~ ○佐藤政明¹・鈴木剛伸²・桐崎力¹・泉克明¹・小松宏光³・玉井浩¹(¹長野果樹試,²長野南信農試,³長野農試)</p>	<p>野 002 イチゴ新系統 ‘久留米 65 号’ の早期収量と開花特性 ○森下昌三・藤田敏郎・遠藤みのり・首根一純(農研機構九沖農研)</p>	<p>野 026 メロン品種 ‘タカミ’ の収穫適期判断手法の開発 第1報 果肉品質と各種指標の関係 ○竹内大造¹・吉橋泰彦²・草川知行¹・大木浩¹(¹千葉農林総研セ,²千葉山武農事務所)</p>
9:30	<p>果 003 キウイフルーツにおける性決定因子の同定(第一報) ○大谷遥¹・赤木剛士^{1,2}・森本拓也¹・別府賢治³・片岡雄雄³・田尾龍太郎¹(¹京都大院農学研究所,²JST さきがけ,³香川大農学部)</p>	<p>果 024 かん水中の溶存酸素量が根圏制御栽培法ニホンナシ生育に及ぼす影響 ○大谷義夫¹・北原智史¹・中山貴史²(¹栃木農試,²環緑株式会社)</p>	<p>果 048 3種類の台木に接ぎ木した垣根仕立て短梢剪定栽培 ‘甲州’ の特性 ○渡辺晃樹¹・三宅正則²・小松正和³・恩田匠⁴(¹山梨果樹試,²山梨峡東地域管セ,³山梨工技セ,⁴山梨工技セ支所ワインセ)</p>	<p>野 003 温度管理および土壌中窒素量がイチゴ品種 ‘栃木 127 号’ における着色不良果の発生に及ぼす影響 ○小林泰弘・畠山昭嗣(栃木農試いちご研)</p>	<p>野 027 低温がニガウリの受精能力に及ぼす影響 ○谷合直樹・平田雅輝(沖縄農研セ)</p>
9:45	<p>果 004 RAD-Seq 法を用いたアウトウの高密度統合連鎖地図の開発とバラ科果樹ゲノムとの比較解析 ○白澤健太¹・五十鈴川寛司²・池永充伸³・齋藤裕太郎²・平川英樹¹・蔵部祥子¹(¹かずさ DNA 研,²山形農総研セ園試,³道総研中央農試)</p>	<p>果 025 ニホンナシの授粉樹におけるビニル被覆および低樹高仕立てが開花期と花粉発芽率および作業効率におよぼす影響 ○島田智人・前島秀明・浅野玉・塚田茜・片野敏夫(埼玉農研セ)</p>	<p>果 049 EOD 加温が早期加温栽培ブドウ ‘デラウェア’ の葉色、果実品質および燃料消費量に及ぼす影響 ○桐野康行^{1,2}・安田雄治¹・松本敏一³・竹村圭弘⁴・田村文男⁴(¹鳥根農研セ,²鳥取大院連合農学研究所,³鳥根大生物資源科学部,⁴鳥取大農学部)</p>	<p>野 004 イチゴ Fra a の花器官における発現解析 ○石橋美咲¹・奈邊健²・新田陽子³・鶴田宏樹⁴・厳原美穂⁵・宇野雄一¹(¹神戸大院農学研究所,²摂南大農学部,³岡山県立大保健福祉学部,⁴神戸大連携創造本部,⁵(株)ピオスタ)</p>	<p>育種・環境制御 (ピーマン) 吉田 千恵</p> <p>野 028 青枯病・疫病抵抗性台木系統試交 8 号の育成と栽培特性 ○篠原陽子¹・杉田亘¹・大田哲史¹・壹岐裕子¹・杉尾嗣嗣¹・長尾龍太郎²・黒木利美²・野崎克弘¹・加藤三郎¹・中村香奈子³(¹宮崎総農試,²元)宮崎総農試,³児湯農林振興局)</p>
10:00	<p>遺伝子解析・組織培養等 深澤(赤田) 朝子</p> <p>果 005 ブドウ (<i>Vitis vinifera</i> L.) における CRISPR/Cas9 を用いた標的遺伝子の改変 ○中島育子¹・遠藤真咲²・伴雄介^{1,3}・東暁史¹・尾上典之¹・伊東明子¹・今井剛¹・佐藤明彦¹・森口卓哉¹・山本俊哉¹・土岐精一²(¹農研機構果樹茶部門,²農研機構生物機能利用研,³現農研機構西日本農研)</p>	<p>不和合 齋藤 隆徳</p> <p>果 026 ニホンナシの自家不和合性に関する研究(第66報) ‘晩三吉’ の自家不和合性の弱さは種子親とした時に遺伝する。 ○平塚伸・掛田克行・名田和義(三重大院生物資源学研究所)</p>	<p>ブドウ 2 宇土 幸伸</p> <p>果 050 準高冷地におけるブドウ ‘ピオーネ’ 成熟期の酸含量推定法 ○金澤淳・中島諒・安井淑彦(岡山農林水産総セ農研)</p>	<p>栽培(イチゴ) 鶴山 浄真</p> <p>野 005 イチゴ促成栽培における日射条件の減少が生育、収量および光合成産物の分配に及ぼす影響 ○遊佐真奈美¹・本間由紀子¹・後藤直子¹・菅野亘¹・岩崎泰永²(¹株式会社 GRA,²農研機構野菜花き部門)</p>	<p>野 029 夏秋パブリカ栽培における遮光率の違いが着果率と収量に及ぼす影響 ○古野伸典・藤島弘行(山形庄内総合支庁農技普課産地研)</p>
10:15	<p>果 006 CRISPR/Cas9 によるリンゴ <i>Phytoene Desaturase</i> 遺伝子のゲノム編集 ○西谷千佳子¹・平井徳美¹・小森貞男²・和田雅人¹・岡田和馬¹・刑部敬史¹・山本俊哉¹・刑部祐里子³(¹農研機構果樹茶部門,²岩手大農学部,³徳島大生物資源産業学部)</p>	<p>果 027 ニホンナシの自家不和合性に関する研究(第67報) 自家不和合性の強さと花粉の糖への反応との関係 ○坂真那美・名田和義・平塚伸(三重大院生物資源学研究所)</p>	<p>果 051 電流処理がブドウの果実品質に及ぼす影響 ○三神允周¹・森大輔²・鈴木俊二¹(山梨大ワイン研セ,²日本振興(株)・環境事業部)</p>	<p>野 006 イチゴ間欠冷蔵処理における非低温処理時の環境条件が処理効果に及ぼす影響 ○山崎敬亮¹・松崎朝浩²・大橋隆³・前田 衡⁴・濱登尚徳²・東卓弥⁶・西本登志⁷・矢野孝喜¹・吉田裕一⁸(¹農研機構西日本農研,²香川農試,³栃木農試いちご研,⁴長崎農研セ,⁵新潟農総研園研セ,⁶和歌山農試,⁷奈良農研,⁸岡山大院環境生命科学研究所)</p>	<p>野 030 パブリカの照射加熱における光源の種類が一重項酸素消去能(SOAC)に及ぼす影響 ○河崎靖一・若木学²・石川(高野) 祐子²(¹農研機構野菜花き部門,²農研機構食品研)</p>

野菜 III N323	野菜 IV N324	花き I N305	花き II N306	利用 I N307	時間
<p>育種 (タマネギ・ネギ) 嘉見 大助</p> <p>野 046 涙の出ない、辛みのないタマネギの作出と特性解析 第二報 ○加藤雅博¹・正村典也¹・正野仁志¹・岡本大作²・今井真介¹ (ハウス食品グループ本社 (株),²(有) 植物育種研)</p>	<p>病害 関根健太郎</p> <p>野 069 ビタミンCを利用したアスパラガスのウイルスフリー化の改良およびウイルス感染が及ぼす内生成分への影響の解析 ○武井俊大¹・平田智恵子¹・園田高広²・実山豊¹・鈴木卓¹・志村華子¹ (北大院農,²酪農学園大農食環境学群)</p>	<p>開花生理・栽培 1 中野 善公</p> <p>花 001 キクの赤色光による効果の高い暗期中断の時間と時間帯 ○白山竜次・木戸君枝 (鹿児島農総セ)</p>	<p>品種・遺伝資源 落合 正樹</p> <p>花 025 奇形花の発生が少ない夏秋輪キク「白涼」の育成 ○久村麻子¹・峯大樹²・阿部知子³・林依子³・平野智也⁴ (長崎農技セ,²長崎農園課,³理研仁科セ,⁴宮崎大農学部)</p>	<p>非破壊解析 喜多 正幸</p> <p>利 001 ウンシュウミカン「北原早生」のBrixおよび近赤外分光法によるβ-クリプトキサンチン濃度の評価 ○江崎亜祐子¹・阪中達幸²・浦広幸¹ (福岡農林試資源セ,²(一財) 雑質技術研)</p>	9:00
<p>野 047 毎年開花による極早生タマネギの世代促進の可能性について ○本間義之・菊池佑弥 (静岡農林技研)</p>	<p>野 070 Capsicum 属の葉が持つRNase活性の特徴と遺伝的特性 ○細川宗孝・宮下英理子・恩田麻由・安井康夫 (京都大院農学研究所)</p>	<p>花 002 アルストロメリアの切り花取量と品質に対する二酸化炭素施用と施肥灌水の影響 ○守谷栄樹¹・○神谷勝己²・鈴木素弘¹ (中部電力 (株) エネルギー応用研,²長野野菜花き試)</p>	<p>花 026 桃色秋輪ギク新品種「佐賀RK1号」の育成 ○坂本健一郎¹・高取由佳¹・宮崎雄太^{1,3}・千綿龍志^{1,4}・松尾洋一^{1,5}・川崎孝和^{1,6}・松村司¹・徳永敦子^{1,7}・大藪榮興² (佐賀農試研セ,²元佐賀農試研セ,³佐賀県庁,⁴東松浦農改普セ,⁵佐賀上場営農セ,⁶佐賀農大,⁷杵島農改普セ)</p>	<p>利 002 タマネギ内部腐敗球の非破壊判別技術の開発 (第4報) 出荷時期および年次の違いがタマネギ腐敗球の判別精度に及ぼす影響 ○西野勝¹・黒木信一郎²・出口陽平³・重藤和明³・中野伸一¹・村上和秀¹ (兵庫農総セ,²神戸大院農学研究所,³(一財) 雑質技術研)</p>	9:15
<p>野 048 栄養繁殖を利用した極早生タマネギの短期育種への取り組み ○菊池佑弥・本間義之 (静岡農林技研)</p>	<p>野 071 トマトにおける感染性クロームを用いた高確率でのTYLCKaV接種法の開発 ○本間鹿波¹・Kesumawati, Ely²・神崎真哉¹・小枝壮太¹ (近畿大院農学研究所,²Syah Kuala University)</p>	<p>開花生理・栽培 2 二村 幹雄</p> <p>花 003 トルコギキョウ花弁数増加を目指した施設内の温度制御 ○川勝恭子¹・嶋津光鑑²・道園美哉¹・牛尾亜由子¹・福田直子¹ (農研機構野菜花き部門,²岐阜大)</p>	<p>花 027 イギリスにおける高日持ち性形質を持つスイートピー品種の探索 ○中村薫¹・パーソンズロジャー²・グリーンストリダム³・倉永泰代¹・長友広明¹ (宮崎農試,²グリーンライズナーサラー,³ロジャーパーソンズスイートピー)</p>	<p>利 003 ハウレンソウの窒素含有率の非破壊測定方法の検討 ○鎌田えりか・石井孝典・小林凌・鈴木崇之 (農研機構九沖農研)</p>	9:30
<p>野 049 濃緑色葉ネギ品種の葉色特性 ○藤井宏栄¹・日高輝雄¹・西田美沙子¹・諸岡譲²・三小田崇²・執行正義³ (山口農林総技セ,²中原採種場(株),³山口大院創成化学研究所)</p>	<p>野 072 オーストラリアで育成されたウイルス抵抗性カボチャの日本系ウイルスに対する反応 ○床田真理・門馬法明・大泉利勝・伊東正 (公財) 園芸植物育種研)</p>	<p>花 004 根域環境制御装置 (N.RECS) を使用した根域加温によるインパチュENSとダリアの省エネルギー栽培 ○村松嘉幸・大島秋穂・小田部桃子・菅田悠斗・窪田聡・腰岡政二・佐瀬勘紀 (日本大生物資源科学部)</p>	<p>花 028 低照度下 (照度1%でも) の環境下で育つ植物 ○田中孝幸 (東海大農学部)</p>	<p>利 004 非破壊振動法で判別できるスイカの割れサイズ ○秋元秀美・櫻井直樹 (広島大院生物園科学研究所)</p>	9:45
<p>栽培 (ネギ・タマネギ) 村山 徹</p> <p>野 050 ネギのセル育苗における施肥量は葉齢に影響する ○西畑秀次¹・浅井雅美¹・若生忠幸² (富山農総技セ園研,²農研機構野菜花き部門)</p>	<p>生理障害・その他 増田順一郎</p> <p>野 073 葉ゴボウのビッチング症状の発生と葉柄長との関連性 ○山崎基嘉¹・上田善紀²・佐野修司¹・鈴木真実¹・鈴木敏征¹・池田高紀³ (大環境農林水産総研,²大阪中部農と緑の総合事務所,³帝塚山学院大)</p>	<p>花 005 ヒートポンプを用いた夜間冷房によるスイートピーの落蕾抑制 木下良一¹・○森養雄² (スイートピー生産者,²岡山農研)</p>	<p>育種・マーカー 1 中村 薫</p> <p>花 029 栃木農試リンドウ遺伝資源における花色関連遺伝子の解析 ○生井潔・渡辺強・松山卓也・若樹陸子 (栃木農試)</p>	<p>貯蔵・鮮度保持 森 仁志</p> <p>利 005 カキ「富有」の春節に向けた輸出用長期貯蔵技術の開発 ○鈴木哲也¹・中野浩平²・新川猛¹・山田毅³・櫻井直樹⁴ (岐阜農技セ,²岐阜大院連合農学研究所,³住友ベークライト (株),⁴広島大院生物園科学研究所)</p>	10:00
<p>野 051 東北地域における直播タマネギの畝上溝底播種およびリン酸局所施肥の効果 ○松尾健太郎¹・山本岳彦²・山崎篤³ (農研機構九沖農研,²農研機構東北農研)</p>	<p>野 074 秋冬ニンジン栽培における生育初期の土壌水分がエクボ症の発生に及ぼす影響 ○高野幸成・鈴木健司 (千葉農林総研セ)</p>	<p>花色・香り 北村 嘉邦</p> <p>花 006 キク属二倍体野生種白色花弁で発現しているカロチノイド酸化開裂酵素遺伝子の多様性 王力超・樋口洋平・○柴田道夫 (東京大院農学生命科学研究所)</p>	<p>花 030 落葉性花木における休眠枝緑枝接ぎ法の検討 ○栗山拓郎・井樋昭宏 (福岡農林業総試資源活用研セ)</p>	<p>利 006 マンゴー16品種の完熟果実における貯蔵中および貯蔵後の弾性指標と果実品質の特性並びに日持ち性評価 ○文室政彦¹・前田隆昭²・櫻井直樹³ (近畿大附属農場,²南九州大環境園芸学部,³広島大院生物園科学研究所)</p>	10:15

第1日 9月10日(土) 10:30～12:00

時間	果樹 I N205	果樹 II N206	果樹 III N207	野菜 I N321	野菜 II N322
10:30	果 007 リンゴ根でのカラムナー候補 遺伝子の発現解析 ○和田雅人・岡田和馬・ 森谷茂樹・花田俊男・守谷 (田中) 友紀・本多親子・ 岩波宏・阿部和幸(農研機 構果樹茶部門)	果 028 ニホンナシ S2 遺伝子座のゲ ノム構造および発現遺伝子解 析 ○西村遼太郎・藤本龍・ 安田(高崎)剛志(神戸大 院農学研究科)	果 052 野生ヤマブドウ果実における 大きさ、糖、アントシアニン およびポリフェノール含量の 年次間変動 ○堀川謙太郎・志村華子・ 実山豊・鈴木卓(北海道大 院農)	野 007 促成栽培における四季成り性 イチゴ‘みやざきなつはるか’ の定植時期と定植苗の花房の 有無が収量に及ぼす影響 ○壹岐怜子・野崎克弘・ 加藤三郎(宮崎総農試)	遺伝資源・成分等 (トマト・トウガラシ) 大山 暁男 野 031 単為結果処理によるトウ ガラシ果実中の Capsaicin, Dihydrocapsaicin および Capsiate の増加 ○島山佳奈実 ¹ ・朴永俊 ³ ・ 根本和洋 ² ・南峰夫 ³ ・松島 憲一 ² (¹ 信州大理工(農), ² 信州大農学部, ³ 信州大院 農学研究科)
10:45	マーカー等 神崎 真哉 果 008 全ゲノム配列解読によるウン シュウミカン系統間変異の検 出と DNA マーカー化 ○清水徳朗 ¹ ・吉岡照高 ¹ ・ 太田智 ¹ ・喜多正幸 ¹ ・望月 孝子 ² ・谷澤靖洋 ² ・神沼 英里 ² ・中村保一 ² (農研機 構果樹茶部門, ² 国立遺伝研)	果 029 ニホンナシ S3-RNase 周辺 BAC コンティグの塩基配列 解析 ○武矢悠太郎・野村直希・ 藤本龍・安田(高崎)剛志 (神戸大院農学研究科)	イチジク・熱帯果樹 鉄村 琢哉 果 053 イチジクとイヌビワの種間雑 種由来のイチジク株枯病抵抗 性 BC1 の獲得 ○薬師寺博 ¹ ・森田剛成 ² ・ 丸丸祥大 ² (¹ 農研機構果樹茶 部門, ² 広島総研農技セ)	野 008 一回目の間欠冷蔵処理日数と 育苗時の栽植密度がイチゴ ‘女峰’の開花に及ぼす影響 ○金城朱理・花田惇史・ 吉田裕一・後藤丹十郎・ 安場健一郎・田中義行(岡 山大院環境生命科学研究所)	野 032 ナノバブル水を用いた養液栽 培トマトにおけるトランスクリ プトーム解析 ○河崎実之 ¹ ・Liu, Shu ¹ ・ 西川仁 ² ・櫻井伸樹 ² ・大下 誠一 ¹ (¹ 東京大院農学生命 科学研究所, ² JNC(株)水 俣研)
11:00	果 009 パイナップルにおける果肉 色関連形質の QTL 解析 ○奈島賢児 ^{1,2} ・竹内誠人 ³ ・ 諸見里知絵 ³ ・正田守幸 ⁴ ・ 浦崎直也 ⁴ ・太郎良和彦 ⁴ ・ 菅原見美 ⁵ ・西嶋洋一 ^{3,6} ・ 保坂ふみ子 ² ・寺上伸吾 ² ・ 西谷千佳子 ² ・國久美由紀 ² ・ 山本俊哉 ² (¹ 日本大生物資 源科学部, ² 農研機構果樹茶 部門, ³ 沖繩農研セ名護, ⁴ 沖 繩農研セ, ⁵ 農研機構九州農 研, ⁶ 鹿児島大陽加工技研セ)	果 030 サクラ属 <i>Slocus F-box-like</i> (<i>SFLFS</i>) のベチユニア形質転 換体における機能解析 ○森本拓也・渡邊美佳子・ 田尾龍太郎(京都大院農学 研究科)	果 054 退緑条斑症状を呈する台湾産 パイナップル苗からディープ シーケンスによるウイルス検 出 ○柳澤広宣 ¹ ・池城隆明 ² ・ 夏秋啓子 ³ ・池上亮太 ² ・関 根麗子 ⁴ ・関根健太郎 ⁴ (¹ 農 研機構中央農研, ² 那覇植 防, ³ 東京農大国際, ⁴ 琉球 大)	栽培・環境制御 (イチゴ) 野崎 克弘 野 009 イチゴ促成栽培における光合 成促進のための LED 補光が 収量及び生育に及ぼす影響 ○後藤直子 ¹ ・本間由紀子 ¹ ・ 遊佐真奈美 ¹ ・菅野亘 ¹ ・ 岩崎泰永 ² ・鈴木廣志 ³ ・ 米田正 ³ ・彦坂晶子 ⁴ ・石神 靖弘 ⁴ ・後藤英司 ⁴ (¹ 株式会 社 GRA, ² 農研機構野菜花き 部門, ³ 昭和電工株式会社, ⁴ 千葉大院園芸学研究所)	野 033 トマトモデル品種マイクロト ムの大規模変異集団の発展 ○星川健 ¹ ・四方雅仁 ^{1,2} ・ 有泉亨 ¹ ・福田直也 ¹ ・久保 康隆 ³ ・金山喜則 ⁴ ・青木考 ⁵ ・ 江面浩 ¹ (¹ 筑波大生命環境 系, ² 農研機構生物機能, ³ 岡 山大院環境生命科学研究所, ⁴ 東北大院農学研究科, ⁵ 大阪府大院生命環境科学 研究所)
11:15	果 010 シーベリーにおける雌雄識別 DNA マーカーの開発に向けた RAPD 分析 横田勇斗 ¹ ・河合義隆 ² ・ 菊地理絵 ¹ ・近藤勝彦 ³ ・ ○朝倉史明 ¹ (¹ 神奈川大工 学部, ² 東京農大農学部, ³ 財)進化生物学研)	核果類 中村 ゆり 果 031 分光色差計を用いたオウトウ の着色程度の評価法 ○多田史人・黒田博・安達 栄介・佐藤裕則(山形農総 研セ園試)	果 055 パッションフルーツにおける 成熟期の温度と果実品質との 関係 ○島田温史 ¹ ・倉本謙 ² ・朴 炳宰 ² ・橋本文雄 ^{1,2} ・山本 雅史 ^{1,2} (¹ 鹿児島大院連合 農学研究科, ² 鹿児島大農学 部)	野 010 人工光型植物工場における日 長時間と光強度の違いが四季 成りイチゴの生育および収量 に及ぼす影響 ○前田和也・伊藤善一・ 玉置雅彦(明治大)	
11:30		果 032 ウメ‘露西’の予備枝発生を 目的としたせん定法 ○下博圭 ¹ ・竹中正好 ^{1,4} ・ 北村祐人 ^{1,2} ・川村実 ^{3,5} ・佐 原重広 ^{3,6} (¹ 和歌山果樹試 うめ研, ² 京都大院農学研究 科, ³ 和歌山日高振興局, ⁴ 和 歌山西牟婁振興局, ⁵ 和歌山 経営支援課, ⁶ 和歌山農林水 産総務課)		野 011 イチゴ多植栽培システムでの ‘かおり野’子苗直接定植技 術によるイチゴ長期多収生産 技術の確立 ○鶴山浄真 ¹ ・鹿嶋英一郎 ² (¹ 山口農林総技セ, ² 株式会 社サンポリ)	
11:45		果 033 冬季剪定がニホンスモモ‘サ マーエンジェル’・‘サマービ ュート’および‘貴陽’の新 梢生育と果実品質に及ぼす影 響 ○富田晃 ¹ ・萩原栄揮 ¹ ・ 山下(土橋)路子 ² ・新谷 勝広 ¹ (¹ 山梨果樹試, ² 山梨 峡南農務事務所)		野 012 イチゴ高設栽培における芽数 管理および栽植密度が収量お よび品質に及ぼす影響 ○本間由紀子 ¹ ・後藤直子 ¹ ・ 菅野亘 ¹ ・遊佐真奈美 ¹ ・ 岩崎泰永 ² (¹ 株式会社 GRA, ² 農研機構野菜花き部門)	

第1日 9月10日(土) 10:30～12:00

野菜 III N323	野菜 IV N324	花き I N305	花き II N306	利用 I N307	時間
<p>野 052 夏季栽培用ワケギ '広島 12 号' と '広島 13 号' の種球生産時の定植、掘り上げ時期および長日処理が分球数と鱗茎肥大に及ぼす影響 ○古田貴音¹・川口岳芳^{1,2}・柳本裕子¹ (¹広島総技研農技セ、²九州大院生物資源環境科学府)</p>	<p>野 075 菌根菌観察のための新技術 ○石井孝昭・天内和人 (徳山高専)</p>	<p>花 007 チューリップの香りの官能評価 ○岸本久太郎¹・辻俊明²・大久保直美¹ (¹農研機構野菜花き部門、²新川農振セ)</p>	<p>花 031 <i>R. multiflora</i> と <i>R. "PEKcougel"</i> の交雑後代のバラ根頭がんしゅ病抵抗性 ○山本竜明¹・村田強¹・落合正樹²・福井博一² (¹岐阜大院応用生物科学研究科、²岐阜大応用生物科学部)</p>	<p>利 007 減圧下での 1-MCP ポストハーベスト処理がブロッコリー花蕾の鮮度に及ぼす影響 ○古川智子¹・榎原啓高²・志村華子¹・実山豊¹・鈴木卓¹ (¹北海道大院農、²ローム・アンド・ハース・ジャパン (株))</p>	10:30
<p>栽培・養液栽培 (アスパラガス等) 甲村 浩之</p> <p>野 053 アスパラガスの新栽培法 (採りつき栽培) の開発 ○蕪野有貴¹・津田溪子²・田口巧²・今井峻平¹・唐天利¹・松永邦則³・元木悟² (¹明治大院農学研究所、²明治大農学部、³バイオニアエコサイエンス (株))</p> <p>野 054 アスパラガス改植法の検討 (第4報) ○池内隆夫 (香川農試)</p>		<p>花 008 芳香シクラメン <i>Flavonol synthase (FLS)</i> 遺伝子の単離と解析 ○秋田祐介¹・北村智²・野田尚信³・石坂宏⁴ (¹埼玉大院工学研究科、²量研機構量子ビーム、³農研機構花き研、⁴埼玉花振セ)</p> <p>遺伝子解析 秋田 祐介</p> <p>花 009 ファレノプシスの GA による花成誘導機構の RNA シーケンス解析 ○窪田聡・佐野仁美・福田直也・腰岡政二 (日本大生物資源科学部)</p>	<p>花 032 サクラの歴史と文化 (鎌倉時代から現代) ○細木高志 (島根大生物資源科学部)</p> <p>育種・マーカー 2 栗山 拓郎</p> <p>花 033 アバルディア原種および栽培品種の染色体数とフローサイトメトリーによる倍数性の調査 ○大槻優華¹・宮下千枝子¹・菊池真司²・佐々英徳² (¹東京農総研セ、²千葉大園芸学研究所)</p>		10:45
<p>野 055 室素形態が水耕ミズナの生育と品質に及ぼす影響 ○福田宇恭¹・近藤謙介²・中田昇²・山口武視²・野波和好²・松添直隆³ (¹鳥取大院農学研究所、²鳥取大農学部、³熊本県立大環境共生学部)</p> <p>野 056 植物工場における水耕栽培を利用したジオウの種イモの大量生産技術の開発 ○南谷健司¹・田坂恭嗣²・田林紀子²・松村健²・柴田浩樹³・塚田愛³・丸山真一⁴ (¹北海道大院農学研究院、²産総研、³(株) ハーパー研究所、⁴(株) 朝日工業社)</p>		<p>花 010 緑色花ユリにおける B クラス遺伝子群の発現を制御する遺伝子のゲノム配列と発現量の解析 ○安井俊樹¹・梁修静²・北村嘉邦² (¹信州大院総合理工学研究所、²信州大農学部)</p> <p>花 011 2 本鎖 RNA 結合タンパク質を用いたウイルス網羅的検出法の確立 ○関根健太郎¹・白川明日佳²・藤崎明香²・関根麗子¹ (¹琉球大農学部、²(財) 若手生工研セ)</p>	<p>花 034 早期に花色が変化するノリウツギ (ピラミッドアジサイ) 系統 24-1 の育成 ○穴澤拓未・望月寛徳・藤木俊也 (山梨総農技セ)</p> <p>花 035 アジサイの花の外縁白色型覆輪模様の遺伝様式と遺伝型の解析 ○小玉雅晴^{1,2}・田邊雄太¹・中山真義^{2,3} (¹栃木農試、²筑波大院生命環境科学研究科、³農研機構野菜花き部門)</p>		11:15
		<p>花 012 NGS 大量リードデータのサブリード比較によるアマ科植物の異形花型自家不和合性遺伝子座の解析 ○牛島幸一郎¹・赤木剛士²・池田和生³・七條由衣⁴・島田浩平⁴・中野龍平¹・久保康隆¹ (¹岡山大院環境生命科学研究所、²京都大院農学研究所、³山形大農学部、⁴岡山大農学部)</p>	<p>花 036 アジサイの八重咲き連鎖マーカーの簡易検出法の検討 ○阿久津翠¹・和氣貴光²・黒倉健³・小玉雅晴¹・鈴木恵美子¹・岡田香織¹・生井潔¹ (¹栃木農試、²栃木塩谷南那須農振事務所、³宇都宮大農学部)</p>		11:45

時間	果樹 I N205	果樹 II N206	果樹 III N207	野菜 I N321	野菜 II N322
9:00	<p>カンキツ1 山本 雅史</p> <p>果 011 ウンシュウミカン新品種 ‘長崎果研原口1号’の特性 ○早崎宏靖¹・古川忠²・園田真一郎¹・林田誠剛³・谷本恵美子¹・高見寿隆⁴・根角博久⁵ (長崎農機七果樹,²長崎農大,³長崎農機七,⁴長崎農産園芸課,⁵農研機構九沖農研)</p>	<p>果 034 リンゴ ‘ふじ’の果肉の細胞分裂に及ぼす気温の影響 ○小林達¹・葛西智 (青森産技セリんご研)</p>	<p>果 056 ラズベリー ‘ワインダーベリッド’とナワシロイチゴの戻し交雑より得られた刺無系統 BC1 No.2 の繁殖 ○金子博¹・森本大樹²・執行みさと³・大和田大樹³・國武久登⁴・小松春喜³ (東海大農学部農学教育実習セ,²東海大院農学研究所,³東海大農学部,⁴宮崎大農学部)</p>	<p>養液栽培・栄養生理 (トマト) 伊達 修一</p> <p>野 013 異なる濃度の NaCl 処理が NFT 栽培トマトの花房第3段までの果実品質に及ぼす影響 ○菊地郁¹・安孫子静香¹・後藤千彩音²・伊藤瑞穂²・岩崎泰永³ (宮城大食産業学部,²(株) GRA,³農研機構野菜花き部門)</p>	<p>遺伝子解析1 河鱈 実之</p> <p>野 034 PGDBjより新たに公開した「育種向け DNA マーカー検索ページ」について ○柴谷多恵子¹・白澤沙知子¹・市原寿子¹・浅水恵理香²・平川英樹¹・田畑哲一¹ (公財) かずさ DNA 研,²龍谷大農学部)</p>
9:15	<p>果 012 ‘土佐文旦’の種なし果実生産における適正着果管理 ○廣瀬拓也^{1,2}・山下翔人¹・小原敬弘¹・谷岡英明¹ (高知農機七果樹試,²愛媛大院連合農学研究所)</p>	<p>果 035 リンゴの樹体ジョイント仕立てによる栽培法の開発 3. 斜面における接統方向の影響 ○武田甲¹・柴田健一郎² (神奈川農機七北相,²神奈川農機七)</p>	<p>果 057 自然条件下で連続開花性を示すサザンハイブッシュブルーベリー ‘ブルーマフィン’の花成様式 ○松崎隆介・森本拓也・山根久代・田尾龍太郎 (京都大院農学研究所)</p>	<p>野 014 極少量培地耕におけるトマトの着色不良果の発生を軽減するための培養液組成の検討 ○切岩祥和・Zhang, Yiting・鈴木大地・鈴木克己・糠谷明 (静岡大農学部)</p>	<p>野 035 トマト Phosphoenolpyruvate carboxylase (PEPCK) の発現は果実糖含量、果実生長に影響する ○松倉千昭¹・黄永興²・野中聡子¹・福田直也¹・江面浩¹ (筑波大生命環境系,²筑波大生命環境科学研究所)</p>
9:30	<p>果 013 カンキツ類花木の挿し木における発根促進剤および採種時期の違いが発根に及ぼす影響 ○永崎友香¹・濱崎櫻¹・青島加奈子² (静岡農林技研果樹研セ,²静岡衛生課)</p>	<p>果 036 リンゴ果実の日焼け発生に関する要因について(第2報) ‘ふじ’における日焼け発生時の果実表面温度と気象条件について 福田勉²・市川悦子¹・橋本克樹¹・前島勲¹・船橋徹郎¹・小松宏光³・玉井浩¹ (長野果樹試,²下伊那農改セ,³長野農試)</p>	<p>果 058 ブルーベリー果実の含有種子数および肥大成長と花粉親品種との関係 ○土井研一¹・野崎諒一¹・岩崎直人² (明治大院農学研究所,²明治大農学部)</p>	<p>野 015 日本海側地域でのトマト低段密植・閉鎖型養液栽培における日射量を指標とする養分供給量の検討 ○遠藤昌伸¹・相川敏之¹・山澤康秀^{1,2} (新潟農総研園研セ,²新潟新津農振部)</p>	<p>野 036 トマト ADP-glucose pyrophosphorylase 遺伝子の発現抑制が組織強度、細胞壁多糖構成に及ぼす影響 ○鈴木春香¹・宮地桃子¹・Yves, Gibon²・Christophe, Rothan²・野中聡子³・福田直也³・岩井宏暁³・江面浩³・松倉千昭³ (筑波大院生命環境科学,²フランス国立農学研 (INRA) ボルドー研,³筑波大生命環境系)</p>
9:45	<p>果 014 新植や改植の合理化を目的としたウンシュウミカン苗の成長解析 ○矢野拓¹・森崎章好¹・松原公明¹・北野雅治² (大分農林水研,²九州大院生資環)</p>	<p>果 037 植物成長調節剤がリンゴの果実肥大に及ぼす影響 ○田中紀充¹・岸優花¹・小島夏実¹・松本省吾²・小森真男³・荒川修¹ (弘前大農学生命科学部,²名古屋大院生命農学研究所,³岩手大農学部)</p>	<p>キウイフルーツ 朝隈 英昭</p> <p>果 059 キウイフルーツのいよう病に対する品種抵抗性の評価 ○宮田信輝¹・兵頭紋佳¹・福田哲生²・坂下亨³・清水伸一¹ (愛媛果樹研セ,²香川農試府中果樹研,³香川生流課)</p>	<p>野 016 培養液への NaCl 添加がトマトの生育におよぼす影響の品種間差異 ○後藤千彩音¹・菅野亘¹・菊地郁³・岩崎泰永² (株) GRA,²農研機構野菜花き部門,³宮城大食産業学部)</p>	<p>野 037 トマトにおける <i>AgpL1</i> および <i>AgpS1</i> 遺伝子の過剰発現に伴う果実品質への影響 ○門脇颯斗¹・後藤幸久¹・野中聡子²・福田直也²・江面浩²・松倉千昭² (筑波大院生命環境科学,²筑波大生命環境系)</p>
10:00	<p>カンキツ2 國賀 武</p> <p>果 015 ‘かんきつ中間母本農6号’における着果管理と収穫方法による省力化の検討 ○兼常康彦・宮田明義・西岡真理 (山口農林総技セ)</p>	<p>果 038 赤果肉リンゴの果肉着色に及ぼす光の影響 ○橋本克樹¹・前島勲¹・船橋徹郎¹・市川悦子¹・福田勉²・小松宏光³・玉井浩¹ (長野果樹試,²下伊那農改セ,³長野農試)</p>	<p>果 060 キウイフルーツ ‘ハイワード’由来 ‘毛じ’ 枝変わり系統の果実特性 ○周藤美希¹・八幡昌紀²・成瀬博規¹・増田幸直¹・向井啓雄² (静岡大技術部,²静岡大農学部)</p>	<p>栽培1 (トマト) 遠藤 昌伸</p> <p>野 017 トマト幼苗の生長に及ぼすウルトラファインバブル施与の影響 ○山本純之¹・西川仁²・櫻井伸樹²・前田重雄³・西原一寛³・林孝洋¹ (近畿大農学部,²JNC 株式会社,³IDEC 株式会社)</p>	<p>遺伝子解析2 黒倉 健</p> <p>野 038 メロンの遺伝子発現情報解析データベース [Melonet-DB] ○矢野亮一・野中聡子・江面浩 (筑波大生命環境系)</p>
10:15	<p>果 016 カンキツ ‘はれひめ’のマルチ方式栽培による5年間の少量多頻度液肥施用による収量安定化効果 ○三堂博昭¹・根角博久²・藤原文孝¹・重松幸典¹ (愛媛農研果樹研セ,²農研機構九沖農研)</p>	<p>果 039 リンゴ花弁におけるアントシアニンの分布と MYB 転写因子との関係 ○沢田葵・渡邊敬文・伴野潔 (信州大農学部)</p>	<p>果 061 キウイフルーツ花粉専用雄品種 ‘さぬき花粉力’の特性について ○水谷亮介・福田哲生・真鍋徹郎・末澤克彦 (香川農試府中果樹研)</p>	<p>野 018 弱光条件下における昼温の違いが果実類の乾物生産量に及ぼす影響 ○龍勝利¹・徳永恵美²・井手治¹ (福岡農林試資源セ,²福岡農林試)</p>	<p>野 039 イチゴのハプロタイプ同定に向けた全ゲノム解析 平川英樹¹・白澤健太¹・永野聡一郎¹・長崎英樹¹・前田ふみ²・磯部祥子¹ (かずさ DNA 研,²千葉農林総研セ)</p>

野菜 III N323	花き I N305	利用 I N307	時間
<p>育種・遺伝資源 (アブラナ科等) 塚崎 光</p> <p>野 057 ハクサイ類の根こぶ病抵抗性遺伝子座 <i>Crr1</i> を導入したキヤベツ型戻し交雑後代における抵抗性発現 ○小原隆由¹・丹羽智久¹・吹野伸子¹・柿崎智博¹・板橋悦子¹・石田正彦¹・畠山勝徳²・松元哲³ (農研機構野菜花き部門¹,²岩手大³農研機構東北農研)</p>	<p>収穫後生理 1 後藤丹十郎</p> <p>花 013 屋内の光強度の違いがエラチオール・ペゴニアの観賞性に及ぼす影響 ○中島拓¹・望月寛子²・安藤利夫¹・鈴木健¹・熱田圭佑¹・市村一雄² (千葉農林総研セ,²農研機構野菜花き部門)</p>	<p>キウイフルーツ加工・軟化 生駒 吉識</p> <p>利 008 キウイフルーツ3品種における湯剥きによる簡易剥皮の検討 ○村上寛¹・山口和希¹・佐々木俊之³・野口真己² (静岡農技研果樹研セ,²農研機構本部,³静岡西部農林事務所)</p>	9:00
<p>野 058 <i>Brassica rapa</i> L. と <i>Eruca sativa</i> Mill との属間交雑系統当代の育成 - (第2報) ○上西愛子¹・聖代橋史佳¹・菊池真司²・木庭卓人²・吉田誠¹・北宜裕¹ (神奈川農技セ,²千葉大園芸学研究所)</p>	<p>花 014 カーネーションの切り花におけるエチレン感受性の特性について ○東未来¹・市村一雄 (農研機構野菜花き部門)</p>	<p>利 009 ¹レインボーレッド[®] キウイフルーツの低温長期貯蔵と成熟関連遺伝子の発現解析 ○笠原有加¹・Asiche, William Olubero¹・Oscar, Mitalo Witere¹・土佐康彰¹・常盤淑玲²・牛島幸一郎^{1,2}・中野龍平^{1,2}・片岡郁雄³・末澤克彦⁴・久保康隆^{1,2} (岡山大環境生命科学研究所,²岡山大農学部,³香川大農学部,⁴香川農試)</p>	9:15
<p>野 059 関東地方の伝統野菜「のらぼう菜」(<i>Brassica napus</i> L.) における遺伝的多様性の評価 ○柘植一希¹・陳襄坤²・吉岡洋輔³・大澤良³・元木悟⁴ (明治大院農学研究所,²筑波大院生命環境科学研究所,³筑波大生命環境系,⁴明治大農学部)</p>	<p>花 015 キンギョソウの受粉による花弁脱離の品種間差におけるエチレン生成能の関与 ○市村一雄¹・加藤美紀²・小幡彩夏³・東未来¹・種谷光泰²・仁木朋子¹ (農研機構野菜花き部門¹,²千葉農林総研セ,³東京農林総研セ)</p>	<p>利 010 3品種のキウイフルーツにおける成熟関連遺伝子のエチレン応答と温度特性 ○土佐康彰¹・ミタロオスカー・ウィテレ¹・アシチュウィリアム・オルベロ¹・笠原有加¹・常盤淑玲²・牛島幸一郎^{1,2}・中野龍平^{1,2}・久保康隆^{1,2} (岡山大院環境生命科学研究所,²岡山大農学部)</p>	9:30
<p>野 060 食用ギク在来系統の諸特性 (第三報) - 現存系統の探索と収集 (1) - ○佐藤淳¹ (新潟農総研園研)</p>	<p>花 016 キンギョソウ切り花における受粉による脱離誘導、エチレンに対する感受性および自己触媒的エチレン生成能の品種間差 ○小幡彩夏¹・東未来²・湯本弘子²・岡澤立夫¹・市村一雄² (東京農林総研セ,²農研機構野菜花き部門)</p>	<p>収穫後生理 (遺伝子発現解析) 加藤 雅也</p> <p>利 011 モモ果実の軟化に関与する PpEXP1 の機能解析に向けた基礎的研究 ○松山佳織¹・小野裕美²・今井友也³・石丸恵¹ (近畿大院生理工学研究科,²近畿大生物理工学部,³京都大生存圏研)</p>	9:45
<p>栽培 (アブラナ科等) 澤里 昭寿</p> <p>野 061 道北地域でのコマツナの厳冬期栽培に向けた播種期および被覆資材の検討 ○地子立 (北海道総研機構上川農試)</p>	<p>収穫後生理 2 神谷 勝己</p> <p>花 017 ダリア切り花におけるベンジルアデニンの動態と日持ち性への影響 ○東明音^{1,2}・窪田聡¹・腰岡政二¹ (日本大院生物資源科学研究所,²クリザール・ジャパン(株))</p>	<p>利 012 Effect of storage temperature on color development and related gene expression in Satsuma mandarin fruit ○Mitalo, Oscar Witere¹・Asiche, William Olubero¹・Kasahara, Yuka¹・Tosa, Yasuaki¹・Tokiwa, Sumire²・Ushijima, Koichiro^{1,2}・Nakano, Ryohei^{1,2}・Kubo, Yasutaka^{1,2} (岡山大院環境生命科学研究所,²岡山大農学部)</p>	10:00
<p>野 062 冬春ダイコンの生育における地球温暖化の影響評価 (第1報) 気温データからの生育予測 ○高田敦之¹・岡田邦彦² (神奈川農技セ,²農研機構野菜花き部門)</p>	<p>花 018 ダリア切り花の日持ち性における品種間差と形態的的特性の関係 ○辻本直樹^{1,2}・仲照史²・虎太有里² (奈良北部農林振興事務所,²奈良農研セ)</p>	<p>利 013 カラーピーマン果実に対するエチレンおよびジャスモン酸メチル処理がカロテノイド代謝関連遺伝子の発現に及ぼす影響 ○永田雅靖¹・吉田千恵²・松永啓³ (農研機構食品部門,²宮城園総研,³農研機構野菜花き部門)</p>	10:15

時間	果樹 I N205	果樹 II N206	果樹 III N207	野菜 I N321	野菜 II N322
10:30	果 017 透湿性光反射シートを被覆したウンシュウミカン‘石地’主幹形仕立てにおける肥効調節型肥料の土壌混和が窒素溶出に及ぼす影響 ○竹阿賢二・川崎陽一郎・塩田俊(広島総研農七)	果 040 休眠覚醒期におけるリンゴ休眠芽のトランスクリプトーム解析 ○竹内貴規 ¹ ・山根久代 ¹ ・伴野潔 ² ・田尾龍太郎 ¹ (¹ 京都大院農学研究所, ² 信州大農学部)	果 062 雄品種‘さぬき花粉力’を利用したマタタビ属種間雑種‘香粹’の自然受粉における雄樹からの距離が結実と果実品質に及ぼす影響 ○福田哲生 ¹ ・片岡郁雄 ² ・水谷亮介 ¹ ・真鍋徹郎 ¹ ・末澤克彦 ¹ (¹ 香川農試府中果樹研, ² 香川大農学部)	野 019 トマト抑制栽培において尻腐れ果発生に及ぼす地上部環境の影響 ○樋江井清隆 ¹ ・高木俊輔 ¹ ・番喜宏 ¹ ・東出忠綱 ² (¹ 愛知農総試, ² 農研機構野菜花き部門)	野 040 ネギ属トランスクリプトームデータベース Allium TDB を活用した <i>Allium cepa</i> 連鎖地図の構築 ○藤戸聡史 ¹ ・山下謙一郎 ^{1,6} ・若生幸幸 ¹ ・塚崎光 ^{1,7} ・山北和香 ² ・佐藤修正 ³ ・平川英樹 ⁴ ・執行正義 ⁵ (¹ 農研機構野菜花き部門, ⁶ 農研機構西日本農研, ⁷ 農研機構東北農研, ² 山口大農学部, ³ 東北大院生命科学研究所, ⁴ かずさ DNA 研, ⁵ 山口大院創成科学研究科)
10:45	果 018 ウンシュウミカン果実が固定した CO ₂ の移動と蓄積 ○富谷有喜・名田和義・平塚伸(三重大院生物資源学研究所)	果 041 リンゴ‘ふじ’の自発休眠開始期における <i>lipase</i> 遺伝子 (<i>MdLIP2</i>) のクロマチンリモデリングについて ○齋藤隆徳 ¹ ・大川克哉 ¹ ・小原均 ² ・近藤悟 ¹ (¹ 千葉大院園芸学研究所, ² 千葉大環境フィールド科)		野 020 トマトの側面裂果発生に及ぼす植物体水収支と果皮強度特性の影響 ○本間貴司・矢田和寛・金子賢一(茨城農総七園研)	野 041 ホウレンソウの簡易雌雄判別法の開発 ○藤田尚子 ¹ ・鮎川侑 ¹ ・福家光敏 ² ・渡辺京子 ³ ・有江力 ¹ ・小松健 ¹ (¹ 東京農工大, ² (株)アースノート, ³ 玉川大)
11:00	カンキツ 3 國武 久登 果 019 佐賀県唐津市在来の香酸柑橘‘ゲンコウ’の果汁および果皮に含有される成分について ○古藤田信博 ¹ ・田口奈穂子 ¹ ・土井智子 ¹ ・伊東佳那子 ¹ ・山口真奈美 ¹ ・納富麻子 ² (¹ 佐賀大農学部, ² 佐賀果樹試)	カキ 新川 猛 果 042 ‘平核無’の小果突然変異体‘突核無’の果実におけるサイトカイニン含量および遺伝子発現の変化 ○内藤一平 ¹ ・西山総一郎 ¹ ・高居恵愛 ² ・山根久代 ¹ ・田尾龍太郎 ¹ (¹ 京都大院農学研究所, ² 石川県立大附属農場)		栽培 2 (トマト) 菊地 郁 野 021 高糖度トマト栽培のためのリング処理技術の確立 ○原田恭宏・高畑健・峯洋子(東京農大農学部)	遺伝子解析 3 矢野 亮一 野 042 レタスの <i>DREB1</i> オルソログ遺伝子の機能解析 ○宇野雄一 ^{1,2} ・山田晃紀 ¹ ・村岡文香 ² ・関功介 ³ (¹ 神戸大院農学研究所, ² 神戸大農学部, ³ 長野野菜花き試)
11:15	果 020 中国雲南省におけるカンキツ遺伝資源の調査 ○山本雅史 ¹ ・楊学虎 ² ・北島宣 ³ ・永野幸生 ⁴ (¹ 鹿児島大農学部, ² 雲南農業大園林園芸学院, ³ 京都大院農学研究所, ⁴ 佐賀大総合分析セ)	果 043 台木がカキ‘太秋’の着花に及ぼす影響 ○鉄村琢哉 ¹ ・石村修司 ¹ ・瀧田隆志 ¹ ・船木昭吾 ¹ ・内田大晴 ¹ ・日高拓未 ¹ ・原ノ後翔 ¹ ・黒木志郎 ¹ ・松尾光弘 ¹ ・本勝千歳 ¹ ・千々和浩幸 ² (¹ 宮崎大農学部, ² 福岡農林試)		野 022 ソバージュ栽培におけるミニトマトの着色段階の違いが貯蔵日数と果実品質へ及ぼす影響 ○藤尾拓也 ¹ ・吉田泰 ¹ ・折笠貴寛 ² ・加藤一幾 ² ・小笠原裕 ³ ・法領田匠 ³ ・松浦拓也 ¹ ・田代勇樹 ¹ ・川村浩美 ¹ (¹ 岩手農研セ, ² 岩手大農学部, ³ (株)岩手缶詰)	野 043 Whole genome bisulfite sequencing によるハクサイの DNA メチル化領域の探索 ○福島尚樹 ¹ ・高橋聡史 ² ・板橋悦子 ¹ ・清水元樹 ³ ・安田剛志 ¹ ・鈴木稔 ³ ・関原明 ² ・藤本龍 ¹ (¹ 神戸大院農学研究所, ² 理化学研究所環境資源科学研セ, ³ 岩手生物工学研セ)
11:30	果 021 ヒマラヤンライム等のプータンで発見した興味深いカンキツ遺伝資源 ○永野幸生 ¹ ・Tshering Penjor ^{2,3} ・三村高史 ² ・古藤田信博 ² ・松本亮司 ² ・永野輝 ^{4,5,6} ・本庄三恵 ⁴ ・工藤洋 ⁴ ・山本雅史 ⁷ (¹ 佐賀大総合分析セ, ² 佐賀大農学部, ³ Renewable Natural Resources Research Centre Wengkhar, ⁴ 京都大生農研, ⁵ JST PRESTO, ⁶ 龍谷大農学部, ⁷ 鹿児島大農学部)	果 044 カキ‘前川次郎’の酵素剥皮処理における剥皮性の評価 ○山口和希 ¹ ・鈴木麻友 ^{1,8} ・服部憲明 ¹ ・村上寛 ¹ ・喜多正幸 ^{2,9} ・野口真己 ^{2,10} ・佐々木俊之 ¹ (¹ 静岡農技研果樹研セ, ² 農研機構果樹茶部門,志太榛原農林事務所, ⁸ 農研機構近中四農研, ⁹ 農研機構本部)		野 023 夏秋期のトマト施設栽培における作業者と植物体への暑熱対策と増収技術に関する研究 ○高橋正明 ¹ ・小池修 ¹ ・酒井博幸 ² (¹ 宮城農園研, ² 宮城農林水産部農振課)	野 044 <i>Brassica rapa</i> L. における開花関連遺伝子 <i>FRIGIDA</i> の発現解析および全長配列の決定 ○高田紗都子 ¹ ・板橋悦子 ¹ ・宮路直実 ¹ ・安田(高崎)剛志 ¹ ・藤本龍(神戸大院農学研究所)
11:45		果 045 カキ果実におけるへたを経由した放射性セシウム汚染経路の解明(第2報) ○関澤春仁 ¹ ・佐藤真理 ⁴ ・相原隆志 ² ・濱松潮香 ³ ・八戸真弓 ³ (¹ 福島農総セ, ² 福島農総セ会津地域研, ³ 農研機構食品部門, ⁴ 元福島農総セ)		野 024 夏秋トマトにおける不織布ポットを用いた栽培での生産能力 ○熊崎晃 ¹ ・二村章雄(岐阜中山間農研)	野 045 ハクサイにおける萎黄病菌感染時のトランスクリプトーム解析による病害反応遺伝子の調査 ○宮路直実 ¹ ・清水元樹 ² ・高田紗都子 ¹ ・加治誠 ³ ・安田(高崎)剛志 ¹ ・岡崎桂一 ⁴ ・藤本龍 ¹ (¹ 神戸大院農学研究所, ² 岩手生工研, ³ (株)渡辺採種場, ⁴ 新潟大院自然科学研究所)

第2日 9月11日(日) 10:30～12:00

野菜 III N323	花き I N305	利用 I N307	時間
<p>野 063 種根茎の重さと植付け時期の違いがガジュツの生育・収量等へ及ぼす影響 ○杉村和実(宮崎総農試菜草セ)</p>	<p>花 019 ベンジルアミノプリン溶液の浸漬処理と冷蔵期間が湿地性カラー切り花の日持ちに及ぼす影響 ○海老原克介¹・種谷光泰¹・柏崎佑二²・市村一雄³(¹千葉農林総研セ,²千葉県庁,³農研機構野菜花き部門)</p>		10:30
<p>野 064 26年間超低温保存したワサビ種子発芽個体の生育 ○馬場富二夫¹・久松 稔¹・本間義之²・石川雅也^{3,4}(¹静岡農林技研伊豆研,²静岡農林技研,³東京理科大,⁴東京電機大)</p>	<p>花 020 大輪八重咲き系トルコギキョウの蕾切り切り花におけるジヤスモン酸メチルの処理条件の検討 ○水野貴行・福田直子・湯本弘子(農研機構野菜花き部門)</p>		10:45
<p>環境制御(光質) 切岩 祥和</p> <p>野 065 光合成のエネルギー分配に着目した赤色・青色LED交互照射によるリーフレタスの成育促進要因の解析 ○名田和義¹・河村慶太¹・遠藤穰²・執行正義³・平塚伸¹(¹三重大院生物資源学研究所,²三重大生物資源学部,³山口大院創成科学研究科)</p> <p>野 066 青色光による連続照明ならびに二酸化炭素施用処理はレタス幼植物体においてクロロゲン酸蓄積を促進する ○下村未知瑠¹・吉田英生²・有泉亨²・江面浩²・福田直也²(¹筑波大院生命環境科学研究科,²筑波大生命環境系)</p> <p>野 067 赤色/遠赤色光比の高い照射下でのキュウリ実生の成長速度の低下は葉の拡大が抑制されることで起こる ○渋谷俊夫¹・林早紀²・遠藤良輔¹・北宅善昭¹(¹大阪府大院生命環境科学研究科,²大阪府大生命環境科学域)</p> <p>野 068 近接照射用UV-B電球形蛍光灯による紫外線照射がトマトの生育、収量および品質に及ぼす影響 ○渡邊圭太¹・西野勝¹・藤原英世¹・神頭武嗣¹・内橋嘉一¹・佐藤文生²・有井雅幸³(¹兵庫農技総セ,²農研機構野菜花き部門,³デザイナーフーズ(株))</p>	<p>繁殖・形態 川勝 恭子</p> <p>花 021 マドンナリリー (<i>L. candidum</i>) のりん片繁殖 ○河原林和一郎^{1,2}(¹静岡大農学部,²無所属)</p> <p>花 022 リンドウ1年生株における主塊茎発達過程の観察 ○阿部弘(岩手農研セ)</p> <p>花 023 水生シダ植物ケラトプラテリスカールの長期保存の試み ○三國智葉・安部文貴・栗山昭(東京電機大院理工学研究科)</p> <p>花 024 トルコギキョウの立枯病抵抗性育種に関する研究(第1報)水耕装置を用いた抵抗性検定法の開発 ○小野崎隆¹・佐藤衛¹・水谷祐一郎²・福田直子¹(¹農研機構野菜花き部門,²兵庫農総セ農技セ)</p>		11:00
			11:15
			11:30
			11:45